



2019年2月8日

各位

会社名 株式会社電通国際情報サービス  
代表者 代表取締役社長 名和 亮一  
(コード番号 4812 東証第1部)  
問合せ先 取締役専務執行役員 上原 伸夫  
(TEL. 03-6713-6160)

### 剰余金の配当(増配)および次期配当予想に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2018年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。本件は2019年3月22日開催予定の第44期定時株主総会に付議する予定です。また、2019年12月期の配当予想を下記のとおりいたしましたので、あわせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2018年12月期期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2018年2月9日公表)	前期実績 (2017年12月期)
基準日	2018年12月31日	2018年12月31日	2017年12月31日
1株当たり配当金	35円00銭	28円00銭	27円00銭
配当金総額	1,140百万円	—	879百万円
効力発生日	2019年3月25日	—	2018年3月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 2. 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として認識し、持続的な成長を実現するための内部留保を確保しつつ、適正かつ安定的な配当を継続することを配当に関する基本方針としております。また、連結配当性向として、35～40%を目安に掲げております。

上記方針のもと、当期末の配当金の予想を1株につき28円としておりましたが、当期を最終年度とする中期経営計画「ISID Open Innovation 2018～価値協創～」の取り組みの結果、連結業績は売上高・利益ともに過去最高を達成したことから、予想より7円増配し、1株につき35円としました。すでに実施済みの第2四半期末配当金とあわせ、年間配当金は1株につき63円(前期比11円増)、連結配当性向は39.6%となる予定です。

### 3. 配当性向の見直しならびに 2019 年 12 月期の配当金予想について

2019 年度からの3カ年を対象とする新たな中期経営計画「ISID X(Cross) Innovation 2021」をスタートするにあたり、株主還元をさらに強化すべく、連結配当性向の目安を「35%～40%」から「40%以上」へと変更するとともに、2019 年 12 月期の年間配当金の予想を、以下の通り1株につき 70 円(当期比 7 円増)といたします。なお、連結配当性向は 40.1%となる見込みです。

	第 2 四半期末	期末	合計
1 株当たり配当金	35 円 00 銭	35 円 00 銭	70 円 00 銭

以上